

聖徒の道



7

1957

末日聖徒イエス・キリスト教会

目次

LDSメツセンジャー改題 聖徒の道 一九五七年七月号

「伝道部長メツセージ」

信仰それは気長に

御言葉を育くむこと

ポールC・アンドラス伝道部長 一頁

交畑における真理

・・・ウインデル・アシントン長老 三

教会は貴方がた一人一人の為にゐる

・・・ヘンリー・D・モイル 四

私の夢・・・アリス・S・レデン 五

一言集 六

「ニュース欄」 七

新訳「モルモン経」の出版に際して

・・・佐藤 龍 猪

東京LDS合唱団の演奏会

「伝道本部より」 十

「福音のたより」(各支部の報告) 十一

充実(の努力)(広島支部の近況)

名古屋支部の集い

私たちのバザー(仙台支部の報告)

甲府支部より

小樽支部の動静

阿倍野支部便り

岡町支部より

東京北支部より

前橋支部状況

室蘭支部状況

「信仰と証詞」

浸礼の朝・・・(仙台) 飯村邦雄 十八

浸礼を受けて(福岡) 高木 昭 十八

神権を受けて(小樽) けん持修 十九

主を慕いて・・・(仙台) 高橋ちよ子 十九

「支部訪問記」(岡町支部の巻) 二一

大管長の言葉「祈りについで」 二三

本伝道部宣教師大会 二四

表紙の説明。編集言 二五

苦はさまざまとも

苦は妨礙ぐとも 進め神の聖徒

よみがえりの日は やがて満ち満ちん

光と生命と

わざわいの待つ世も 時は長からず

やがてエスの君 輝く御群と

復た世に來まさむ

神をほめたゝえ 絶えずに喜べ

苦多き世にても エスはのたまえり

「信頼め平安からむ」と

讚美せむ神の御名 直き僕もて

世人を導き 教の道をば

伝道部長メツセージ

信仰——それは氣長に

御言葉を育くむこと

○・・・ポール・アンドラス 伝道部長



神の国はこの伝道部にて目ざましい発展を示しており、天父なる神

のみめぐみにより、今年度は六月二

十五日現在で、すでに二百十六件の

バプテスマが伝道本部に報告されて

いる。この時にあたり、私はこうし

た新会員たちに心からの祝辞を送り、

この教会家族の一員となる様、心か

ら歓迎する次第である。神は、諸君

が真実の福音を受け入れ、バプテスマを受けて、己の生活を神の教え

と一致せしめる様努力しつゝあるを知つて大変お喜びになられておら

れる。諸君は、従順と神の教会にて活潑に働くことによつてもつともつ

と多くの祝福をさすけられることだろう。

予言者アルマはモルモン経の中に記録されてある如く、信仰につい

て語っているが、このことは、近頃この教会に入会した人たちは云う

までもなく、古い会員たちにとつても読む価値のあるものである。次

に、アルマの信仰に関する説教をモルモン経新訳より引用して載せる。

○・・・信仰に関するアルマの説教

「信仰ということについて私はすでに言つた。信仰ということは完全に物事を知ることではない。今私の言っている言葉についてもその通りである。すなわち信仰が始めから完全に物事を知ることではないと同じように、私の言葉の確かなこともあなたたちは始めから完全には知ることができない。しかし、あなたたちがもし目をさましてふり立ち、その能力をつくして少しなりとも信じながら私の言葉を實際にためして見るならば、たとえ信じようとする望みを起すだけでもよい。しかし、私の言葉の一部分でも受け入れるほどの信仰ができるようになるまで、この望みを育ててゆけ。

今、神の御言葉を種子になぞらえて話すと、あなたたちが一つの種子を自分の心の中に蒔くとき、もしもその種子すなわち善い種子であつて、あなたたちが不信心の心でこの種子を抜きとつたり、主の「またま」に逆つたりすることがなければ種子は次第に胸の中でふくれ始めるであろう。そこで、あなたたちは種子がふくれ始めることを感ずると次のように思う。すなわち、これはまことに善い種子、善い言葉に違ひなく、私の心を大きく開き、私の理解力を増し、私はようやく好い味を感ずると。ごらん、このようにしてあなたたちの信仰と言うものが増すではないか。さよう、増すけれどもまだ完全に知ると言うほどではない。種子が大きくふくれて芽を出し、ようやく成長する時になると、あなたたちはこのように生えて出るから必ず善い種子であると認めるに違ひない。

××

××

××

さて、あなたたちはここでこの種子が本当に善い種子であることを確かに知っているか。その通り、確に知っている。それは、すべて種子は自分と同じ実を結ぶからである。従つてもし種子が生えるならこれは善い種子であるが、生えないならば善い種子ではないから捨てられる。今あなたたちは実際にためして種子を蒔き、その種が大きくふくれて芽を出し生え始めたから、その種子が善いことを知るに違いない。さてあなたたちがこのように知るのは完全な知識であるか。その通り、ただこのことのみに關しては完全であるから、このことに関するあなたたちの信仰と言うものは眠つてゐる。これはあなたたちがすでに知識があるからである。神の言葉がすでにあなたたちの心を大きく開き、種子のように芽を吹き出したのであるから、あなたたちは自分の理解力が増し、自分の頭が開けてくることを感じて知つてゐる。

それならば、知識はすなわち眞実なことではないか。その通り、明らかな光であるから眞実である。およそ光は明らかに悟ることが出来るものであるから善であつて、その善であると言うことはあなたたちが知らねばならぬことである。今、あなたたちはすでにこの光を経験したのであるから、あなたたちの知識は完全であるか。いやそうではない。あなたたちは、ただ種子の善し悪しを試みるために、種子を蒔いてみることにだけ信仰を用いたのであるから、その信仰をすててはならない。種子から生える木が生長し始めると、あなたたちは『さあ、この木が充分に根を下ろして生長し、私たちのために実を結ぶようによく注意して養ひ育てよう』と言うが、

あなたたちがよく注意して

この木を育てるならば、根を下ろして成長し実を結ぶであらう、これに反して、もしあなたたちがほつておいてこれを養ひ育てることに心を配らなかつたならば、根がつくことなく、太陽が出てこれを照らしこれを熱するならば、根がないから枯れてしまふであらう。このときあなたたちはその木を抜いて捨てるであらう。しかし、木がこのように枯れるのは種子が悪かつたためでもなく、また実がなつたときその実が悪いためでもない。その土地が荒地であつてしかもあなたたちが木を養ひ育てないためである。それであるから、その実をとることができない。

××

××

××

これと同じわけで、あなたたちかもしれないも信仰を以て言葉の実るときを待ち設けながら言葉を養ひなかつたならば、決して生命の木の実をとることはできない。しかし神の御言葉である木が生え始める時からその実の生る時を待ち設けながら勉めはげんで、氣長によく信仰を以てこれを養うならば、その木は根を下ろして永遠の生命を生ずる木になるであらう。このように、あなたたちが心の中に神の御言葉の根がつくように勉めはげみ、厚い信仰を以て氣長に御言葉を養ひ育てるならば、やがてその言葉の実をとつて腹に満ちるまでそれを食ひ、もう飢えることもなく渴くこともないであらう。この言葉の実は最も貴重であつてあらゆる甘いものよりも甘く、あらゆる白いものよりも白く、あらゆる清いものよりも清い。私の兄弟たちよ、その時になつてあなたたちは、自分のために木が実を結ぶのを待ちながら尽した信仰を勤勉と忍耐に對し、
 受け取るであらう」と。

神の真実の教会の会員であるすべての[○]ちが信仰を行使し、且つ、共に永遠の生命の実に与り得るために常に義しき行いをなす様心から祈る。

麦畑に於ける真理

○・・・ウエンデル・アシントン長老

良くみのつた麦畑を縫つて歩いて行くイエスと其の弟子たちに多くの人の批判的な視線が注がれていた。その日は日曜日であつた。空腹にたえかねた弟子たちが、若干の麦の穂を摘み取り、麦粒を手で擦つて口の中にほおり込んだ。

この時、イエスや弟子たちの「あさがし」をしようと、批判的な目配りをしていた人たちの顔が弟子たちに向けられた。「何故、貴方のお弟子たちは、この安息日に法律に反するようなことをするのか。・・・」パリサイ人はイエスにこう聞いた。

麦の穂を手で擦ることは、からさおなどで穀物を打つのと同じことであつた。そして、安息日に穀物を打つことは、法律に反するものだと定められていたのである。

主は、この時に、食物が欠乏し、全く飢えていたダビデの話をパリサイ人に思い起さしめた。ダビデは、祭司にパンを分けてくれるように頼んだ。祭司の所有していたパンは、みな神に捧げられたもので、たと祭司のみが食うパンであつた。しかし、祭司は空腹で困り切つてゐるダビデに聖なるパンを分け与えたのである。イエスは又、「安息日は人のために設けられて、人は安息日のために設けられず」と仰せ

られた。
この日曜日、[○]にはこの場で教え度いと願つていたことが数多くあつたことだろう。私は、その中の一つについてのみ考えてみたい。・・・それは、「度量の大きい人を評価してみよ」ということである。

エイブラハム・リンカーンが偉大な人であつたのは、彼がちつぽけな物事に少しもよくよせず、度量の大きい人間であつたからである。このことは、ある有名な歴史家によつて語られたリンカーンの経験談中に見出される・・・。

租野で、新米のイリノイ州の弁護士であるリンカーンは、ある日一つの法律上の事件解決にあたつて、援助を与えてくれる様依頼された。彼はエドウィン・M・スタントンという才氣ある一人の弁護士と一緒になつて働くこととなつた。東部の住民で、且つ洗練された弁護士であるスタントンは、ひよろながい、きやしやな西部の人、リンカーンが自分の同僚になるのだと知ると、突然、次のように云つて騒ぎたてた。「私はあんな薄鈍と一緒に働くなんて、まづびらごめんだよ」と。完全に心を傷つけられ、不快な思いをしたリンカーンは、観衆にまじつて法廷に入つた。しかしリンカーンの度量は極めて大きかつた。彼はあれ程にも心を傷つけられ、不快な思いをしたにも拘ず、東部の人スタントンの論法を心から讃嘆したのである。事件は成功裡に解決された。

エイブラハム・リンカーンは、それより六年後にアメリカ合衆国の第十六代目の大統領になつた。この時彼は、洗練された的確な弁護士

（ハスタントン）を思い出し、同時に、この弁護士の云い元つた才氣あふれたあのすばらしい論法にも思い至したのである。リンカーン大統領は、当時のこの男の傲慢過ぎる態度や、彼自身に与えたひどい軽蔑の言葉など全く忘れ、それを気にさえることがなかった。そして、エドウィン・M・スタントンに、陸海軍大臣になつてくれる様依頼したのである……。

今晚、私の机の上に「彼の原稿料は一枚ごとに六千ドル」と見出しをつけた新聞がのつてゐる。この記事はアメリカ人の記憶すべき事柄を書いて広告したベリー・スコフィールドに関する記事である。二十年前、ベリーは広告会社を首になり、「君は字もろくろく正しく書けないのだから、原稿書きなどにはとつてもなれそうもないよ」と云われた。しかし、今ではどうだろうか。誰れにも負けない程の立派な原稿書きである。これは、彼が今までちつぽけなことにくよくよせず、度量を大きく持つて自分の目的を達成するため、精進は精進を重ねて来た結果なのである。そして彼は今でも、普通に綴字に幾多の誤りをしてゐるのである。

これに類似した例がもう一つある。エジンバラ大学のある教授はやせた弱そうな一学生の書く原稿に目もくれなかつたその原稿中の綴字は全く誤りの連続であつたからである。しかしどうだろうか。この人こそ自分の綴りをしらないのを気にせず、努力に努力を重ねて遂には「誇かいされて」及び「宝島」などの大作を書きあげたロバート・ルイス・ステイヴンソンであると信ずる人があつたらうか。

ある人は安息日に穀物を擦ることが穀物を打つことと同じであると云つた。しかし乍ら、麦畑で語られたイエスの言葉は、われわれ人間の目をもつと大きく且つ広く開かしめる様に考えられる。即ち、麦粒を採ることが法律に違反するなど考えるのではなく、もつと度量を大きくもつて進むのである。主はするように望んでおられる。これこそ永遠の生命に至る道を、もつと明らかに示す糸口を与えてくれるものとなるであらう。

教会は貴方が一人一人の為にある

〇・・・ヘンリー・D・モイル

当教会では各個人が高められるのであります。そして教会はこの目的の為に存立してゐるのであります。我々の信仰に従えば人間は神にかたどつて創造されたのであつて、これは即ち、人間は神の今日いまし給う位にまで至りうることを意味するものであります。神の位にまで高まり得るといふ人間の可能性はそれだけにまた大いなる責任を各個人に課して居ります。各個人は神の王国にあつては己が働きにより己れの昇進を勝ち得るのであつて決して他人の業によるものではないとあります。男子会員に与えられた神権は、自らの神権を強めんが為であつて他人のそれを強めんが為にでは決してないのであります。

我々のはかのヤコブの教え「行いなき信仰は死にたるものなり」を文字通りに信じて居ります。ヤコブは又こうも教えて居ります。「

「もし人が自ら信心深くあると思ひ、その舌にくつわをかけず、自分の心を欺くなら、この人の信心は空しい。父なる神の前、清く汚

れの無い信心とは、困つてゐる孤児、寡婦たちを訪れてやり、世俗に汚されないように自分を清く守ることである」と。

この点に關し我々は現世の救いと靈の救いとに區別をもうけておりません。各個人はその双方に責任があるのであります。それ故各個人が、何事にまれ他からの助けを求める前に、自分自身の力をつくして事にあたるよう導くことが正に福祉計画の一部なのであります。

各個人が色々な形に於て逆境に見舞われる時、かれの問題はまず直接的にかれの家族にかゝわりを持つてでありましょう。そして己がもつ全力を尽してその問題の解決にあたる各人及び家族にこそ、すなわち自力更生を知る人にこそ与えられ、これがひいては恢復されたイエスキリストの福音の諸原則に従ふことにより果してゐる日々の業か、真に神よりのものであるという確信を更に一層強める結果にもなるのであります。(一九五三年九月二十六日号チャーチニュース紙より)

私の夢

アリス・B・レデシ (渡部正雄訳)

私は御父が彼の家に呼んでゐる夢を見た。

大なる障壁を超えて

私は非常に困惑した。

私は確かに死んだのだと思つた。

聖ペテロが門の処で私を迎えた

彼は言つた「私について来い

ここに私が貴方に見せねばならぬ物がある
貴方が見なければならぬ或物がある」と

そこで私は多くの人々が列をなし

並んで立つてゐるのを見た

私が彼等をよく見た時

彼等は皆私の親戚であつた。

その群衆の中の或者は

私がよく覚えてゐる人達であつた

又或者は私が此の地上に来る

遙か以前に住んだ人達であつた

其処に私の曾祖父母が居た

私は喜んで彼等に逢いたいと思つた

けれども私が彼等に向つて歩き始めると

彼等は横を向いてしまつた。

それから私は私の従兄弟や

伯父さんや伯母さんを見た

彼等は咎めるように私に向つて言つた

「私達はなすべき仕事をなす

機会を持たなかつた。

永遠の生命を得る道に

出発する機会を持たなかつた
だから私達にここに留つて居なければ
ならぬのだ」と

私の父も母も又

遙か彼方に立つていた

彼等はさも失望したように

その頬には涙が滴つていた

私は振向いて私の教主を見た

彼は眉をひそめて居た

「私は彼等の為に十字架にかかつて死んだ

然るに貴方は彼等を落してしまつた

見なさい貴方の高貴な先祖達を

貴方が門を開けて

彼等がおのか道を行くのを助けてやるであ
らう

その日の来るのを待つてゐる」

私の心は重かつた。

私はこれ等の人々を眺めた時

涙がうるんで涙が頬をつたわつた

私は再び彼（教主）に向つた

祝福されたる教主よ

どうぞ私を戻して下さい

私は別の試みをして見ます

私はすべての親類の為に働きます

私はまだ死ぬ用意が出来て居りません

私は唯の一人も見逃しません

愛する主よ 私はほんとうに恥じて居ります

私は貴方の言葉に従つて

すべての儀式を行うように努めます

そこで私は目がさめました 夢は去り

私は死んだのではありませんでした

けれども私は決心をしました

今日この日に始めようと

浸礼エンドウメント又シーリング

私の見出したものは少くありませんでした

探せば探す程より多く

私になさねばならぬ事が見つかりました

けれども私は追い求めて行きます

そしてどこまでも探求し続けます

次に私が私の先祖達に逢う時は

私はにっこりほゝえんで逢いましょう

一言集

われわれは永遠の生命を得るために、永遠
の原則を学び、それを実践せねばならない。

ブリガムヤング

幸福は、主の御霊がわれわれと共に住す時
のみに享受され得るものである。悪魔の霊が
共にある時には、その悪霊は、正義の結果な
る喜悦と平安と満足とをわれわれより奪つて
しまう。

ジョージ アルバート スミス

如何なる人と雖も、神の神権を所有するに
あらずんば、主の御名によりて語る権能を有
さず。

ジョンテイラー

ニュース欄

「新訳モルモン経」の

出版に際して

佐藤 龍 猪

○・・・翻訳委員会の経緯

一、このたび、正確に云えば千九百五十七年五月三十日に新訳モルモン経が始めて出版されましたに就て、最初からその翻訳の業に従っていた私に、何かを書くように許されたことは誠に感謝の至りであります。今を去る八年前、当時の日本伝道部初代伝道部長イー・エル・クリソールド長老は当教会独特の標準聖典すなわちモルモン経、教義と聖約、高価なる真珠の三種を翻訳および改訂することを意図せられ、これらの業に従うために私を召して第二代伝道部長ヴァイナル・ジー・マース長老と共に按手礼を行い、私を翻訳者として特に任命されました。時に千九百四十九年八月のことでありましたが、それ以前クリソールド長老は現伝道部長アンドラス長老を伴つ

て私の郷里愛知県鳴海町を訪れて教勢を視察せられ、これにひきつづいて間もなくデッド・ブライス長老とコーシン・ゴヤ長老が地方派遣最初の宣教師として来鳴されました。これらの事情に就てお話ししますとこの一つ一つに大能の神の御手が働きたまうていることを知つて誠に驚嘆するばかりです。このたびはただ預め告げられた神の御言葉が一日成就したことを眼のあたり見て、まことに神は生きたまうと証詞をするにとどめておきます。

それから間もなくクリソールド長老はこの翻訳の事業を進めるために翻訳委員会を組織し、組織し終つてから伝道部の管理を第二代伝道部長に引きついでハワイへ帰られました。この委員会は、まずアンドラス長老、高木富五郎兄弟、奈良富士哉兄弟、児玉琴枝姉妹、藤原光江姉妹および私から成り、当時なお自由な社会情勢にもかかわらず集りを催して翻訳に関する打合せ、意見の交換等を行つて仕事を進めてまいりました。

その後年月の経過と共に原稿も整理されて出版の機も熟して来たところ、

ス長老が第四代伝道部長として来任され、こ

及んでいよいよ出版刊行が実現されるようになったのであります。アンドラス伝道部長の

代となつて、昨年すなわち千九百五十六年六

月に新しくアンドラス伝道部長、ベン・オニ

キ副伝道部長、ドン・シー・シンダバーク副

伝道部長、高木富五郎兄弟および私から成る

翻訳委員会を組織して原稿の照合、校訂をす

ることとなり、

当時オニ長老の解任

に關して熱心に仕事を進めて下さつて、八一

月頃までにはモルモン経、教義と聖約、

等を得ていた關係上まずモルモン経から始め

て千九百五十六年十二月に校正開始、同五十

七年四月に終了、ここに五月卅日を以て出

版刊行の運びとなつたのであります。

○・・・出版までの経過

二、このたび新訳モルモン経出版までの経過

をふり返つてみますと、まことに多くの人々

が神の御手によつてこの事業の完成のために

協力して下さい、ことが見えるのであります。

私たちはまず第一にこの事業に承諾を与え、資金を供給して下さった大管長会に深い感謝を捧げなくてはなりません。次に十二使徒会の各会員、特にこの事業に縁の深かつたジョセフ・エフ・スミス長老とハロルド・ビー・リー長老とに感謝を捧げねばなりません。また代々の伝道部長とその副伝道部長、訳語の意味を知るに就て多大の貢献を与えて下さった多くの宣教師の方々、翻訳委員会の諸長老、諸兄弟、諸姉妹、これらの方々にも感謝を捧げねばなりません。また校正に際して多大の労をとつて下さった渡辺寛、今井一男、大塚昌治、佐藤汎の諸兄弟、また原稿のタイプ転写をして下さった市原さん、阿部さん、そのほか原稿の謄写印刷に従事された堀晋兄弟、勝又二郎兄弟にも感謝をしなければなりません。また新訳モルモン経の印刷製本等に協力された三省堂の幹部および工場従業員の方々にも感謝をいたします。

実際、原稿ができてから本当に世の中に出るまでには校正、印刷、製本等の過程を経なければなりません、その一つ一つに多くの方々の心からの協力がなくてはでき上らない

のであります。これを以て見ますと、翻訳の部分は全体の努力の三分の一と云つたら、まだまだ多く見積つてゐるかも知れないと思ひました。

○・・・口語体にした理由

三、次にこの新訳モルモン経の翻訳を始めるに當つてクリソールド長老の希望されたのは「できるだけ多くの人々が福音を知るためにわかり易い日本語で翻訳をする」ことであります。それで出来るかぎりこの御趣旨に従つて今のようものができ上つたわけでありますが、ここに申し上げておかなくてはならないのは、旧訳モルモン経の翻訳が不完全なために新訳が企てられたのでは決してないという事です。私は新訳を始めるに当り何度も旧訳を読ませていただきましたが、その訳はまことに立派なものであつて、必ず名のある専門の英学者の手によつて成つたものであることを確信させられました。しかしながら千九百九年に初版発行以來すでに四十年以上の歳月が流れ、その間日本の社会情勢は多大の変化をとけ、ことに戦後に及んでは日本の教育、文化の方面に驚くべき変化があ

つた事によつて旧訳の原文をまず第一に容易に読みかつ理解のできる文体に変える必要があつたのであります。次に初版発行以來氣付いておられたにちがいない訂正すべき箇所をこの際訂正することが第二でありました。この方針により、またジョセフ・エフ・スミス長老および高木富五郎兄弟の適切な助言も受けて、文章の主体を口語とし、啓示または神の御言葉のほとんどを文語体とする特殊の構成をもつたものとしたのであります。しかし文脈はできるだけ旧訳に従いました。次に仮名づかいは大体現代仮名づかいにより、むづかしい漢字または不必要な漢字を全体で約四万一千字は省きました。それでも、まだまだ漢字の数も多く、言葉づかひも年月と共に変わるものでありますから、この新訳もまた何十年か後にはさらに完全な新々訳にその所をゆずるはずのものであります。

○・・・誤りはお知らせよう

四、原稿を何度も書きなおし、タイプ、転写とくり返しているうちに脱落、誤記などの誤りがあり、幾度にも及ぶ照合、校正を経た後でも出来上つて見るとなお多くの誤りを発見

して、まだまだ努力の足らなかつたことを痛感して皆さまにおわび致す次第であります。

次に正誤表をかかげておきますからこれに従つて本文をお読み下さい。またお気付きになつた脱落、漢字、誤字、誤訳等を当方までお知らせ下さるならば再版に當つてさらに完全なものとするためにきわめて有益なことで存じます。

東京LDS合唱団

の演奏会

東京LDS合唱団は昨年十二月、新発足してより、熱心に練習を行い、六月一日池袋の豊島公会堂で、サインギング、ミシヨナ

リーズ、自称モルモン・ファイブの諸長老と共に、初演奏会を開いた。

前売りの売行き、きわめてよく、当日は盛況で、教会

堂建築資金の充

に寄与する所大であつた。バラ

エティ・シヨールと銘うつた通り

に、ポビュラークラシック、ウ

ニスタン、それも独唱、二重唱

四重唱、合唱、独奏、合奏とバ

ラエティに富んだプログラムで

二時間はまた

く間に終つた。

テオドル・ウニルチ長老、ジョセフ・ユダール長老、マリオン・クツク長老、ジム・ホックス長老、ラリー・シヤムウエイ長老のモ

新訳モルモン経正誤表

頁	行目	誤	正
六	六	兄弟	兄
卅一	十七	見たりまた	見たり聞いたりまた
百五	十五	汝の兄弟たちを	汝の兄弟たちの子孫とを
百廿四	三	服従し死にたもう	服従し万人のため死にたもう
百五十八	十三	国民の旗を立て	国民のため旗を立て
百七十二	十	雷や地震	雷や電や地震
二百六十六	五	この道に従つて行	この道に従つてかれらが
		かないなら	行わないなら
二百六十八	十二	真面目でなければならぬことと、互	真面目でなければならぬことと、互いに愛し互いに



ルミン・ファイブはまったく多才なグループ
 であつてのメロディ・メンを思わせるもので
 伝道のかたわら、しかも甲府、前橋、高崎、
 松本及び東京では小岩公会堂、中野公会堂、
 ジョンスン基地等で演奏会を開き、教会堂建
 築資金の為に働いたのであつて、そのメロデ
 イ・メンにけして劣らぬグループであり、各
 地で演奏会を希望しているが、ユダール長老
 クック長老の帰国でこのグループは残念なが
 ら六月で解散する。

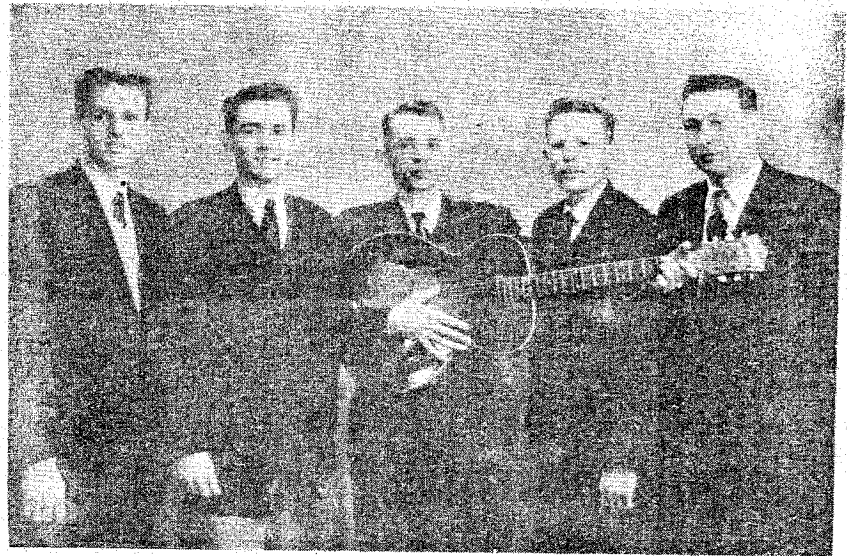
(下の写真はシンギング・ミシヨナリーズの
 面々。)

向つて右よりマリオン・クック長老、テオド
 ル・ウエルチ長老、ラリー・シャムウェイ
 長老、ジョセフ・ユードル長老、ジム・ホッ
 クス長老)

伝道本部より

日本人宣教師召さる

佐々木八重子姉妹は、六月二十四日アンド
 ラス伝道部長により、専任宣教師として按手
 聖任された。



○ドンロ・ランドバーク長老は六月六日、伝
 道部長会、第一副伝道部長に任命された。
 ○ジェームスJ・ジョーンズジュニア長老は、
 六月六日伝道部長会第二副伝道部長に任命
 された。

新宣教師到着

○デリーズ キング長老
 ○ヴァール テイラー長老

新任

ホ	ボム	シン	山	形	東京中	旧任地
ドナルドH・ガウステンド	岡	町	甲	府	東京中	府
ウオールタークラウズ	旭	川	本	部		
ドール・ウオーカー	京	都	岡	町		
ルイスフアンク	小	松	岡	町		
デルモントC・ロー	阿	倍	野	小	松	
ガースノーマン	岡	町	金	沢		
フレデリックドールトン	東	京	南	阿	倍	野
遠	藤	文	方	本	部	札幌
ハワードモーフイット	岡	町	本	部	札幌	
佐々木八重子	小	樽	札幌	本	部	
レダレルヘイル	旭	川	新	潟		
前	沢	敬	税	金	沢	福
ヴァーラライト姉妹	金	沢	小	樽		
福田 真	札幌	旭	川	台		
デイヴィッドバック	小	松	仙	台		
ラドンヴァンノイ	三	条	本	部		
ジェームスジョーンズ	金	沢	本	部		
ヴァールテイラー	札幌	本	部			
デリーズキング	札幌	本	部			
ヘレンフアンク姉妹	札幌	本	部			

地方部長及び 支部長任命

デイヴィッドバック
 ルイスフアンク
 遠 藤 文 方
 福 田 真
 北海道地方部長
 京都支部長
 東京南支部長
 金 沢支部長

ラドソヴァンノイ
ジエームスJ・ジョーンズ
小松支部長
三条支部長

解任

カールS・フレッツチャー
ロバートT・オズボーン
ジョセフ・ユードル
ゲイリー・ローバー
ポール・ボーエン
アレン・ロングマン

バプテスマ

オルセン・根本きみ (横浜支部)
海野茂夫 (甲府支部)
佐久間弘子 (東京中央支部)
柴田弘子 (広島支部)
岩国昌子 (岡田支部)
田添昌子 (岡田支部)
野田よしん (名古屋支部)
上田よしん (名古屋支部)
石山正江 (東京支部)
神田幸雄 (東京支部)
土谷慶昭 (金沢支部)
大竹典子 (福岡支部)
伊藤晴子 (福岡支部)
塩原長七 (仙台支部)
津原栄子 (柳井支部)
富田悦二 (柳井支部)
竹川タダヨシ (東京中央支部)
柏倉ヒロアキ (東京中央支部)

加賀雪子 (広島支部)
金森宗憲 (仙台支部)
藤谷ミサエ (室蘭支部)
伊勢節子 (福岡支部)
安部やなぎ (福岡支部)
上野正光 (福岡支部)
江口澄 (前橋支部)
金子紀明 (札幌支部)
中井喜代子 (金沢支部)
村井ヨシエ (甲府支部)
齊藤喜代子 (東京支部)
西村たに子 (東京支部)
西村たに子 (東京支部)
笹岡たに子 (東京支部)
小松千代子 (東京支部)
荒川千代子 (旭川支部)
川島一夫 (横濱支部)
樹田昭子 (山形支部)
鈴木昌子 (岡山支部)
長野昌子 (岡山支部)
初山じゅん (岡山支部)
河村妙弘 (岡山支部)
河村妙弘 (岡山支部)

(以上六月末現在)

バプテスマを受け、そしてキリストの御名を喜んで受ける証明を天の御父に立てるならば、あなたたちはその時望霊を受ける。

福音のたより

各支部の報告

充実への努力

○... 広島支部の近況

今年になつてからの広島支部の発展は、めざましい。会員が新たに十五名も増えた。そして一週毎に求道者の数を増していく。今や集会場は窮屈になつて来た。これ等は宣教師方の熱心な御努力の賜である。広島支部はめぐまれていて六人の宣教師方から御導きを仰いでいる。

月に一度の食事会をはじめとし、ビクニク、著名人の講演、映画、討論会、毎週MIA前の英語会、ダンス、コーラス、聖典研究レコードコンサート、その他バザー等々この六人の宣教師方と共に働き学んでいる。そしてこれ等のプログラムは新しい求道者を呼び集める最大の結果を生み出している。衆しい一時を共に過す時、互の理解を深め一層充実した支部を作り上げるのである。

四月六日、七日に福岡で地方部大会を、五月十一日、十二日を地元広島で支部大会を

持ったが共にすばらしい大会であつた。

支部大会は十一日MIAをグリーン長老管理のもとに執り行つた。映画、ダンス、に引き続きフロアーショーで、宣教師方のフラダンスは一番の人気で「アンコール」の続出であつた。十二日は、一般大会、聖餐式、神権会を同じくグリーン長老の管理のもとに、扶助協会を佐藤姉妹管理のもとに、ファイヤーサイド等のプログラムをつがなく終えた。尊い証詞と話を耳にし四十三人の出席者をしてその信仰を一層確固たるものにした。

同日按手礼を受けた柴田姉妹の話は、非常に感銘深く、会場を涙で濡らした。地方部長グリーン長老から「悪を口にすな」などの力強い話を載ぎ、再び我々を反省せしめて下さつた。この支部大会は、今迄経験したどれよりも素晴らしいものであつた。

我々は、神権会、扶助協会等の組織を通して、会員を訪問する事によつて不活潑な会員を、呼び起している。その効果は少しづつ、頭をのぞかせ始めている。

我々広島支部最大の目的は、一日も早く礼

拝堂の建つ日を現実に見る事である。そのためにいろいろと方法を講じつゝある。今一つは虫ぼし時期に備えて防虫剤バラゲンを売っている。その他食事会を実施しているし又、バザー音楽会等も計画している。

広島支部の希望は大きく充ち充ちている。そして日々充実した支部へと発展している。

(梶山克宏)

名古屋支部の集い

〇・・・二人の新会員誕生

五月十八日の午後、犬山の本曾川の清流にてピーマン長老により没礼式があり、野田きん姉妹と上田嘉子姉妹の二人の新しい姉妹が生まれました。野田姉妹は今から五年半前に丁度フリップ、武内両長老の時より長老達のお世話をされ多くの長老より良きお母様としてしたわれています。また上田姉妹は六ヶ月余りの間、良く神様の教えを研究された方です。

〇・・・食べる会

当支部では毎月資金を得る為の会を持つ事となり今年は五月二十五日の夜に食べる会を

持ちました。会費の半分を資金に加えて後の半分にちらししを食べました。後でピーマン長老のスライドを見せていただき楽しい一夜を過ごしました。出席者三十四名。

〇・・・えいじの命名と祝福の儀式

六月の第一週の安息日の聖餐式の後でピーマン長老により儀式が施行されました。赤ちゃんの名はデナルルウィス ロングズマイと命名された後で祝福がなされました。赤ちゃんのお父さんは私達に良く分る様にこの祝福を凡て日本語にて受けられましたので、日本人の出席者一同はこのロングズマイ兄弟の強き証詞を無言の中に知る事が出来ました。当支部にては初めての事であり私達は強い感銘を受けました。

〇・・・求道者の集い

毎月の第二週のランチタイムに求道者の皆さんは集いを持つておられます。会の様子を申しますと先生である柳田姉妹を中心として日坂さん(日坂姉妹の御主人)の司会により食べながらこの教会に来た動機、教会に来て感じた事、以前に他の教会に行つた事があるかどうか等々雑談会の様にして四十分余りの

ランチタイムの間、楽しい会を過ごされま
出席者は十五名位です。私達会員は心より、
一日も早く証詞を持たれて信者になれる日
を心より神様にお祈りしております。食事は
パンと水で、当番が交替にてととのえて同じ
く皆パンを食べられるとの事です。

○・・・福音の教え方の会

ピーマン長老により、六月一日と十五日と
の二回、新しい人に福音を伝える為の教え方
を会員に教えていただいております。すなわ
ち、土曜日の午後七時三十分より一時間余り
の有意義なる研究会を持っております。凡て
の会員は神様を知らない多くの人々に福音を
伝える事は誠命として与えられておりますの
で会員は出来る限りこの会に出席して福音
の根本原則を教える教え方を勉強してま
す。

(松浦美代子)

私たちのバザー

○・・・仙台支部の報告

私たちは、教会堂建設資金募集のため、五
月三日の祭日、バザーを行つた。当日は朝か
らの好天で、こどもたちやその家族の方々が

多く、教会を訪れた。私たちは教会の
開放、また施設を最大限利用して数多くの催
しをした。

教会の門から玄関入口までの通路にはブラ
イマリ児童の作品が約百点展示され、その見
事なできばえは、みる人をして歓声をほかせ
た。

また万国旗が飾られ白線がしかれた前庭で
は、午前十時半から「玉入れ」「魚つり」な
どの面白い競技を行い百名をこえるこどもた
ちは大喜び。おいしいたべものはそつちのけ、
なんども競技に参加することもまである。中
でも「おかひさんのお迎え」は家族とそのこ
どもたちがいつしよになつて飛びまわり、爆
笑、拍手のうず。あるおかあさんは「小学校
の運動会よりもたのしかつた」と語つていた。

このバザーでは堅苦しいことは一切抜きに
して、みせるだけでなく、お客さんも参加し
て一しよにたのしんでいただこうという趣向
だつたので、前庭での小運動会？は大成功だ
つた。これは約二時間行われ、このなかやか
なふん囲気が会場全体を包み、童謡のメロデ
イにのつて、門をくぐる人をうきうきさせた

次第。

午後からは教会堂ホールで、こどもたちの
出演になる遊戯、バレエ、唱歌のほか紙芝居
など盛沢山。中でも初等日曜学校、プライマ
リー教師による指人形「三匹の小羊」は練習
もせずすぐ上演、随所に珍妙なセリフが飛び
出し、満員の場内をわかせた。終つて映画。

夜はおとなを対象にしたバレエ、東北学院
大グリークラブの四重唱、MIA演劇部の一
時間二十分にわたる「ベニスの商人」など充
突したプログラム。八時二十分終了。

中庭には売店が設けられ、数十の腰掛も並
べられて休憩所となる。食券はサンドイッチ
いなりすし、だんごなど六種類。姉妹たちは
バザー前日夜遅くまで、また当日は朝早くか
ら食品製造に大奮闘。このバザーを行う企画
は三月末の予算委で行われた具休案をねつた
のち十七の各責任者がきめられたバザーはこ
として二回目、みんなよりよいものにしよう
と努力した。

当日延べ二百三十人もの人が教会につどつ
た。会員、求道者の家族あり、また初めてこ
の教会を訪れた人もいる。それらの人々がこ

の催しを通じて私たちの教会を知っていたを
き、そして一人でも二人でも、この其の福音
に耳を傾けて下さる方が出たならば、私たち
の喜びはより大きいものだろう。私たちがい
るいのの催しをなす根本の目的はいつもそこ
にある。(田中智子、遠藤 肇)

甲府支部だより

結婚式。清水一夫兄弟と伊藤米子姉妹は市
公民館においてランドバーク長老の祝福によ
つて結婚式を執り行い、同夜七時から田中兄
弟の司会により清水新夫妻を祝う会が開かれ
ました。(三月十九日)

ダンスパーティー(教会堂建設費獲得の為)
一ヶ月前から前売券を売り始め、約二百枚ぐ
らい売りました。あまり売行がかんげしくな
いので心配してましたが当日の予想外の入出
に兄弟姉妹又求道者の皆さんは喜びのあまり
涙にむせぶ程でした。そして当日売り二百枚
ぐらいいと計四百名近くの若人が集り広い会場
も足の踏場もないくらいでした。(二月廿三
日)

バラニティショー。東京の各支部の長老

十数名を始め、高崎、前橋から、大井、広瀬
両姉妹、田中兄弟、東京より南条姉妹の多数
の援助によつて立派なショーを催す事が出来
ました。(三月廿一日)

一、バプテスマ。山本美枝さん、山本輝子姉妹
の妹で永い間の研究によつて目出度く姉妹に
なられ、また望月正子さんもやはり永い間の
家碇集会で勉強なさり共にラーセン長老より
浸礼を受けました。(四月廿一日)山梨大学
電機科の優秀な学生海野繁雄さんはラーセン
長老との一ヶ月余の勉強により神の福音を受
け入れ、目出度く兄弟となりました。(五
月五日)

甲府支部大会。ランドバーク長老の管理の
下に各会は開かれ「現世は神に会う用意をな
すべき時なり」のテーマにプログラムは進行
され、終始神の御霊を側近く感じ新たに力強
い信仰を持つ様に導かれました。(五月二十
六日)(治)

日曜学校役員

会 長 岩 沢 治

第一顧問 海 野 繁 雄

第二顧問 ラーセン

書記 海 野 繁 雄
教師 岩 沢 治

音楽指揮者 山 本 輝 子
ラーセン

MIA 役員

会 長 清 水 一 夫

第一顧問 富 田 和 子

第二顧問 山 本 輝 子

書記 山 本 久 子

教師

(ダンス・音楽) 山 本 輝 子

(演 劇) 山 本 久 子

(演 説) ラーセン

(英語会話) ゴースレンド

岩 沢 治

小樽支部の動静

(一) MIA 特別プロ「我々の神殿」を開催。

スレイド長老の「永遠の結婚」を始め、加藤
静、岸上ひで両姉妹の神殿儀式に関する話を
聞き、教義及び聖約の十章を福田長老、けん
もつ兄弟に朗読していただき、出席した十八

人の会員は、神殿儀式の重要性を悟つたよ
うで、「日本にも早く神殿が建てられるよに
努力しよう」というささやきも聞こえ、大変
意義深い会であった。(四月十八日)

(二)四月二十九日の休日を利用して長老達と共
に教会の内外を掃除した。そして夜はきれい
になつた会堂で定期晩餐会を開いた。扶助協
会の姉妹達が作つて下さつたオムライスに舌
づつみを打ち、スレイド長老の十六ミリ映画
を見せていただいた。出席者二十人。

(三)札幌で北海道地方部大会が開かれたので五
月四、五日には小樽支部から十八人の会員求
道者が参加し、それぞれ証詞を強めて帰えつ
て来た。

(四)「金と緑の舞踏会」を南公会堂で開催。女
三には田中久美子姉妹、王にはけんもつ兄弟
が選ばれ、戴冠式の後全員でダンスを楽しみ、
またフォークダンス協会の方が来られデモス
トレーションをして下さつた。尚この日の室
内装も女王、王様の衣装も大変素晴らしいも
のであつた。出席した三十一名(五月廿三日)
五月二十七日には神権会主催のアイスクリ
ムパーティーと門前一人百五十円の券を神権

会会員が不活波な会員の家を訪問して交つた
おかけで、普段出席しない会員もこの日は顔
を見せていた。二十人位の会員が出席。レコ
ードを鑑賞し、ガイドフリー長老のスライド
を見せていただいた。

(六)MIA新役員。(会長)小林毅兄弟(第
顧問)田中久美子姉妹(第二顧問)けんもつ
兄弟(書記)斎藤昭彦さん(会員の教師)小
林克姉妹(求道者)佐々木律子姉妹(中学生)
けんもつ修兄弟、ダンス教師に未定。

(七)けんもつ修兄弟が執事に望任された。
(八)六月の催し。(十二日)教会堂建設資金獲
得のためのダンスパーティーをエスカイヤで開
く。(二十日)MIA授賞資格者、加藤静姉
妹、田中久美子姉妹、けんもつ修兄弟の三名
(三十一日)田中榮子姉妹の結婚をお祝いし
てまた堀田真兄弟の御栄転を祝して晩餐会。

阿倍野支部便り

「金と緑の会」同町、京都、阿倍野三支部
会場で大阪扇町のYMCAに於いて五月十八
日午後六時三十分より筋田兄弟の指導によ
つてフォークダンスを踊り、楽しく行な

いても波多に会つて語り得ない三つの支部の
人達が一つの会堂に集つて楽しい有意義な一
時を過した。しかし、この様な催しを我々の
教会堂にて行いたいという声が多くの人々か
ら聞かれた。当日の出席者は四十七名で宣教
師が十名、八時三十分閉会。

山形支部の中島兄弟は大阪の御両親の元に
帰つて来られ、今後は阿倍野支部の一員とな
られました。又この日、寺西恵美子姉妹が御
両親と共に二年振りに出席されました。(五
月十九日)

寺西姉妹は二年間の闘病生活に終止符を打
つて五月廿五日退院されました。非常に元氣
で今後は身体の回復の為に家庭にて静養され
ます。主のお導きを心より感謝し、寺西姉妹
の退院を心より喜び致します。

宣教師の宅が東住吉区西今川町二ノ六二、
相場様方に移りました。

MIAの新役員が次の兄弟姉妹に決定しま
した。

会長	山本雅男
第一顧問	堀井隆次
第二顧問	筋田愛三

会員教師 児玉 昌

求道者教師 堀井 隆次

書記 田中 勝子

神権会の時間が本来通りの朝九時に交りま
した。
(植村 茂 夫)

岡町支部より

○浸礼式。北摂箕面山清流にて、岩國滋君、
(真面目なる求道心深き高校生) 田添晶子さ
ん(可愛らしい二人のお嬢様のある若い母上で
安息日と扶助協会との集りには心ず子供づれ
で御出席遊ばす誠に熱心なるお方)の二名が
浸礼を受く。

○任命。今井富子姉妹をMIAの演説部の指
導者に、日高千鶴子姉妹を演劇部の指導者に、
森岡千鶴子姉妹を書記に。

○講習会。五月廿六日午後六時半より非専任
宣教師の希望者を募りて参集、岡町十名、阿
倍野より四名、フーバー長老の遠者なる日本
語にての講習第一回を約一時間半熱心に受け
た。以後毎日曜日此の講習会を続けられる
由。

○神権授与。富山兄弟は祭司に昇任、中野兄

弟は教師に昇任、松本、高橋両兄弟は執事の
神権を頂く、

○宣教師移動。フランク長老は京都支部長に、
ロー長老は小松支部へ、ゴーズリンド長老は
甲府より来任さる。

○モルモン経の新約版。本部から送つて来ら
れたので会員及び求道者一同の手に渡る。皆
々喜びて将来の勉強を誓いあう。

○訪問。仙石の塩姉妹当支部を訪問せらる談
に嬉し。
(阪本 幾代)

東京北支部より

六月一日にバライティ・ショウを開いたの
で会員一同すこぶる多忙をきわめたがその甲
斐あつて成功を博したことは別記の通り。こ
の月は昨秋から熱心に家庭集会や日曜学校で
研究を重ねて居られた小松千代子さんが浸礼
を受けて会員となられたことが支部としては
大きな喜びの一つであつた。

本年度のMIAはささやかなれどよく進め
られました。そしてこの年の栄ある賞状は山
田五郎兄弟、田中栄子姉妹のお二人が授与さ
れました。なお山田五郎兄弟は執事から教

師へと昇任された神権を与えられました。

六月廿九日には渋谷の教会堂で当支部のバ
ザーが開かれ、新型浴衣など豫期以上に売りさ
さばかれるという成功をおさめました。

前橋支部の二ヶ月

空つ風の止んだ当地区は、深緑の山々に囲ま
れ、会員一同気持のよい日々を感謝しつつ送
つて居ります。暫く記者の都合で中断しまし
たが再び報告を開始致します。

四月の行事。(二十一日)すばらしい復活
祭のプログラムに参会者一同御霊に満されて
意義ある集会を持てましたことを感謝致しま
した。(二十八、九日)地方部大会。十五名
出席。

五月の行事。支部長会において補助組織の
活動として、中学生を中心としたボーイ・ス
カウトを編成することの提案があり、討議の
結果その為の準備をはじめたことを決議す。
また各集会に多数の人々が出席する様、パン
フレットの配布をすることを決める。特にM
IA、子供日曜学校に集める為に行う。(十
九日)母の日は都令で一週間遅れましたが、

求道者の語等もあり、またお母さん方も

れ、楽しく又意義ある日曜学校であつた。聖
さん式には母の恩を感謝してジョーンズ長老
より、母として安藤姉妹より、将来母となる
者として須田姉妹よりそれぞれ話を伺う。な
お高崎支部主催の音楽会に出られた東京LD
S合唱団員田中榮子、谷保良子両姉妹の訪問
をうけました。(三十一日) MIA主催の教
会堂建設資金募集ダンスパーティを開き、盛
功裡に終る。宣教師及び田中健治兄弟その他
協力を頂いた方々に心より感謝致して居りま
す。

六月の行事。(一日)夜七時より幻燈会を
行う。県視聴覚教育課より借りたスライド「
マナスルに立つ」その他を映写し、八時半過
ぎに散会す。この幻燈会の効あり、多数の新
しい子供が集うようになり、恩田、橋本両先
生は嬉しい悲鳴をあげる。

(MIA) 六月より年度が新しくなり、い
ま迄金曜日に行っていた集会を中央の指示に
従い木曜日に行うことにした。役員も改まり、
永い間会長の任にあつた田中勤兄弟が都合に
より空席であつた第二副会長になる。新役員

は、会長勝俣剛男兄弟、第一副会長近
子姉妹、第二副会長田中勤兄弟、書記恩田信
子姉妹。

(クラス) 日曜学校で中学生の為に特別の
クラスを作り、計四クラスに別れることにな
り、会員は活潑に働いて居ります。

(浸礼式) 十五日午前七時に金子姉妹が誕
生し、益々支部は発展してゆきます。

以上過去二ヶ月の報告ですが、この他に毎
週日曜日の夜、特別のことかない限り、炉端
会を開き、楽しいすばらしい討論を行つてい
ます。尚今後の活動予定は、七月六日映画会、
八月上旬に食品バザーを計画して居ります。
すべてが祝福に満され、常に成功して居りま
すので、これらの計画も成功するものと確信
して居ります。皆様の支部によりアイデア
がひりましたら支部宛にお知らせ下さい。ど
んな事でも結構です。

(宣教師の住所) 次のように変更されまし
た。

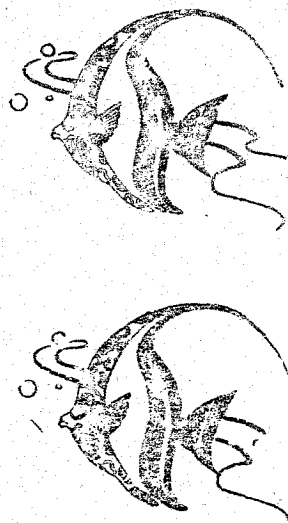
群馬県前橋市宗貞分町

須田巳之吉兄弟方

(勝俣剛男)

室蘭支部状況

- 一、五月中旬に藤田秀光、有坂敏通、梅津清
美の各兄弟が教師に聖任された。
- 二、藤木義憲兄弟誕生す。
- 三、金と緑の舞とう会を愛児園にて開催多数
の参加者で楽しい夕を過した。
- 四、施設資金をうる為食品バザーを行いました。



原稿募集

- 一、各支部の活動状況 (四百字詰三枚位)
- 一、証詞 (同 二枚位)
- 一、各支部の集会・証詞の筆者の写真等 (毎月十五日まで)
- 一、送付先 浦和市岸町八の一四

高木富五郎宛

信仰と証詞

洗礼を受けて

福岡支部 高木 昭

洗礼の朝

仙合支部 飯村 邦雄

朝！新鮮な気持を与えるすがすがしい朝！希望と欣喜に満ちた朝。このすばらしい朝を

どうして今日まで感じ得る事が出来なかつた

のせう！一九五七年四月五日の素晴らしい

朝、空は晴れわたり鶯の鳴き声も一層高く響

き渡り、私を祝福するかのごとくさえずり、

川の流れも清々しく、川底の白黒の小石も手

に取る様に美しい。長い間北風に吹かれて居

つた草木も大自然の春に芽をふくらませた。

こうした万物の生まれ変わりと共に私も生まれ

変わる事が出来ました事を深く感謝致して居り

ます。ふりかえつて見れば過去は苦難、失敗

の連続で、一点の光も見えぬ暗やみの生活で

あつた。それ故は私はこの日こそ人生の牛車

斐を感じ、人生の再出発が出来る事をどれほ

ど強く身を感じたことであつたらう。私はこ

の晴れの浸礼を受けるに当つて、自分の

に於ける熱心さがいか
に不足であつたかを強
く胸に打たれたことで
した。

私はかねて心臓の弱い方でありましたので、

浸礼のための清流に触れるにしたがつて呼吸

困難になり、ついには一時意識不明になりました。

これ等は決して奇蹟でもなんでも有り

ません、ただ天父なる神が私を救つて下さつ

たのだと私は心より強く証詞致します。

考えて見ると氷の張つた川で、燃ゆる熱意

と信仰が有ればいかなる物をも解かす事が可

能であるのを思うならば、私はいかにそれ等

に不足し居つたかをばいらいます。この様

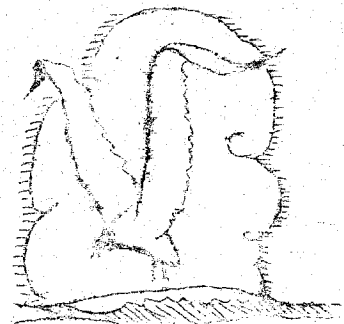
な有様で私はどうして正しい教会に入る事が

出来るだらうかと心配致しました。けれど宣

教師始め多くの兄弟姉妹の暖かい心にだかれ

日々正なる道を歩み、信仰を強くする事が出

来ます事を深く感謝致して居ります。



約三年にわたる求道者生活から洗礼を受け、
この聖なる末日聖徒イエスキリス、教会の会
員となる事が出来ましたことに非常な喜びと
幸福感を覚え、その日その日の生活のなかに
うるおいのある希望に満ちた心の安らぎを見
い出し、天なる父より受けた祝福の恵み、そ
して信仰ある生活を営む充実した気持を知り、
この感激を何と表現したら良いのか僕にはそ
の云うべき言葉を知りません。

世のねたみも、にくしみも、からかいも
、本當にうつくしいもののみが、善なるも
ののみが、新たな生命力が脈うつ永遠に忘れ
得ぬ感激でした。

イエスの御名により高められた今、そこに
あるものは終りの日まで耐え忍べんとする信
仰と敬虔な祈りをさしげんとする気持、瞬間
に生きるのではなく永遠に生きんと努力する
心、異教的なもの、不善なるものと闘い、キ
リストの道を歩まんと願う精神の働きがある
のみであります。

太陽は東から西に沈む、故に太陽が回転し

ているのであり、しかもそれは相当なスピードで自転しているのであります。

表面的な現象にのみとられその本質を見失うことがしばしばあります。又信心深き利己主義者と云う言葉があります。自分の言動は自分が一番良く知るはずですが、しばしば自分が一番知り得ない時があります。目の一番近くある鼻は自分で見ることが出来ません、鏡をもつて初めてそれを見ることが出来、そして汚れを除きとることが出来るのであります。

この鏡の役割を演じてくれる神を信じ、イエスを信じ、その教えを心開いて聞き、神の御意志に通う生活を送る様努力していきたいと願ひ又行わんものと心している次第であります。

神権を受けて

小樽支部 けんもつ 修

私がこの神のお認めになる唯一の教会の会員になつてから、もうすぐ、五ヶ月になるうゝとしてゐる今日、神権会の席上、ガードフリ、三司長老を道してアロン神権を与えられた

事を、この上もない喜びと思つており、ただ感慨無量であります。そして私を導いて下さつた長老兄弟姉妹に心から感謝すると共に天のお父さまにも心から感謝して居ります。これからはこの神権を充分に活用して、小樽支部の方々、いや日本の各支部の方々と心を一つにして、神の王国をこの日本の地に建てるように努力するつもりであります。そして良く福音を学び、多くの福音を知らぬ同胞に伝える事が出来るように努力致すつもりであります。

主を慕いて

仙台支部 高橋 ちよ子

私が洗礼を受けましたのは、昨年十二月二十三日でございましたが、この年のクリスマスが近づくにつれて、私の心は殆んど宿命的とさえ思われる程、半ば他力的に神に近づいて行きました。七年もの間教会に居り乍ら神の愛に目ざめなかつた私に、この様な魂の飛躍があつたことは、云つてみれば一つの奇蹟でした。別に否定するなどということもなく、詳しく勉強する時間のないままに、情

性的生活が続きしました。所がクリスマスが近くなるにつれ、私のこうした生活にいたはたと不安とさびしさが押し寄せました。凡そ生きる為に生きてゐるとしか思われぬ私の生活は根底から揺り動かされました。それに比べ、私の周囲は何と自信と笑みに満ちていたことでしよう。殊に支部長さんの笑顔、そしてあの祈りの際の敬虔さは私にとつて云いようのない驚異でした。

すべてをうち忘れ、身も心も神にまかせきつた安心と生きてゆく信念と云うものの故でしようか。私もそのような心の主を得たいと心から希ひひたすらに（心の主）をあこがれました。支部長さんによつて家庭集會が始められたのはこんなことがあつてから間もなくの事でした。私の心は乾いた海綿が水を吸う様に支部長さんを通して語られる神の言葉を吸いました。やがて私の心には二千年も昔人の悩みを救う為にこの世に生まれ、生きて死んで行つたという神の御子にして且つ全き人間イエスの愛が生き生きと直感されました。この私を愛するが故に十字架のあの死があつたのだとしたら何と不可思議な事でしょう。

人間の理性を以つては解し得ないこの不思議さに驚き恐れ、私の心はこのイエスという御方を仰ぎ見たい衝動にかられました。長老方の導きにより私の魂は神の心に魅せられ、酔う様に神の御前に出て行つたのです。そして今、浸礼によつて得たこの歓び、この安心！

あの不安は他ならぬ神の導きだつたのだと思われまふ。大いなる神の愛に気付かずに過して来た七年間の罪を何によつて報いようかと焦りをさえ感ずるのでございます。この様に

して迷いと苦悩から私の生活は安心と歓喜に変わり、恩寵の神の信頼は私を幼な子の様に弱く又その故にこそ火の様に強く致しました。本当に十年程も前、当時日曜学校に行つていたための片言混りの讃美歌「主我を愛す、主は強ければ、我弱くとも、恐れはあらじ、我主イエスイエス我を愛す」を口ずさんでみて如何ばかりの感動を覚えたことでしょう。

この様にして底なしの空虚な人生の深淵に先づ私の眼を開かせ給ひ、不安に戦慄する私に「我に従え、我に従う者は暗きを歩まず」と宣ひ、その御胸に永遠に憩いを得させ給うたのです。浸礼の水の中から許されて

として新たに誕生した私は永遠を得ることが出来ました。時間に制約され切つた現実の中に、永遠につながる一点があるということは、とりもなおさず浸礼という儀式の持つ一つの奇蹟と申せましょう。この感激は食べないリソゴの味は分らないの一言につきまふ。そして、私のハブテスマに依り、私が救われるのみでなく、既に亡い私の主人や先祖に迄、この恵みが及ぼされるということとは私にとつて大きな喜びでした。この恵みに依つて、私は始めて亡き主人と永遠の結婚を完成致すこと

になります。主人の写真の前に立ちますと、とても喜んでくれている様に見えます。迷ひ、疑ひ、罪深かつた私に、天の御父よ、貴方はこれ程の恵みを与え給うのですか。私は今日も貴方の愛に驚き、御腕に支えられた心の安らぎに感謝し乍ら、つまづきを通して仰ぎみた永遠の神の国をのぞみ、この人生のごぼこの坂道を上る勇氣が湧いて来るのでござい

福音書の日本語版

新訳「モルモン経」(口語体、上製)

三〇〇円

◎日曜学校用

末日聖徒イエスキリスト教会の

特色を示す信条と慣例・儀式

萬人のよきおとすれ

よきおとすれ

古代の使徒

我等の標準聖典

キリストの生涯

霊的成長(子供の日曜学校用)

音楽指揮の原理

新求道者のための福音の根本原則

日曜学校の手引

初等協会用教科書

図書管理者便覧

信証講義

演劇用テキスト

スクエアダンスとフォークダンス

スポーツの手引

ゲームとその遊び方

◎讃美歌

末日聖徒讃美歌

末日聖徒讃美歌

新求道者のための福音の根本原則

子等は歌う

二五円

一五〇

二五

一九〇

五〇

三〇〇

二五

六〇

二九〇

三〇

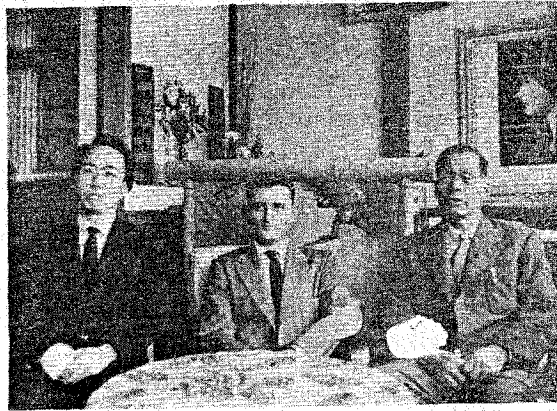
一二〇

支部訪問記

岡町支部

「岡町支部などと云う支部があつただろう
か」とうかつに云つた兄弟があつた。

「なにと怪けているんだ。大阪の十三支部



岡町支部長会

左より中河兄弟 ウエタカ長老 桂兄弟

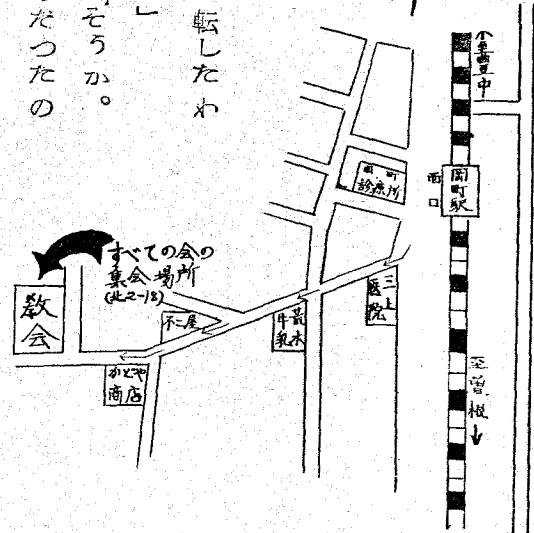
の事だよ。阪急沿線の岡町に新しく教会堂を
買い、十三の淀川高校に移つたのが昨年の
十二月、同時に支部名も岡町支部と改名、心

機一転したわ
けさ」

「そうか。

そうだったの
か」と今さら
知つたこの兄

弟のように、案外十三支部が今は岡町支部と
なつたの知らない会員がいるのではないだ
ろうか。というのも、十三支部の名が全国の
支部によく知れわたつていたからであらう。
十三と書いてじゆうそうと読むのだと一度き
かされけつして忘れなかつたし、たとえ忘れ
ても数字の13を思い出す事はたやすい事だつ
た。その十三の淀川高校に彼等は七年もの長
い間、安住の地としていたのである。それは
学校当局と宣教師、信者が本当に親しく、互



いに助け合つていたからであつた。同じ七年
の間に数回も集会所を変えた支部とは随分利
点に於て差があつた。この支部の会員達の太
阪人らしい、几帳面な性格を表わした、会場
の後始末や、備品の扱いの良さはさぞかし好
意をもたれただろうと思う。

この七年の間に会員は数十名を数える様
になり、日曜学校やM I Aには五十人程の出席
者を迎えて、なごやかにこの高等学校で集り
をやつていた。それが昨年末、六百坪の面積
を持つ立派な邸宅を買い、そこを永住の地と
決めたのである。大阪府豊中市岡町北二丁目
十八番地。この地名にちなんで岡町支部と名
を改めたわけである。

移転してから早いもので半年以上もたつた
が、岡町に来てからこの支部は、まづたくも
つて急速に発展をした。建物を持つ事はこれ
程有利なのかと驚かされたが、岡町支部の実
情をよく知つてみると、長い準備の後の時節
到来なのだという事に気づく。そして教義と
聖約の四章の「さて見よ、一つの驚嘆すべき
業、まさに人の子らの中に現われんとす。
この故て女ら神の役務で出で立たんとする

者は、終りの日に臨みて神の前に咎なくして立たんため、すべからく心をつくし、勢力をつくし、思いをつくし、体力をつくして神の役務をなせ。されば汝もし神に仕えんと望むならば、汝は神の業に召さるるなり。そは見よ畑は早白くして刈り入れを待つが故なり。また見よ、勢力をつくして鎌を入るる者は、亡びずしてその身も霊も救いを得る為に庫に積み入るるなり」と。

という聖句の一つの顯著な例なのだという事も。

今年になつてこの岡町支部は、

一に組織が充実して来た。

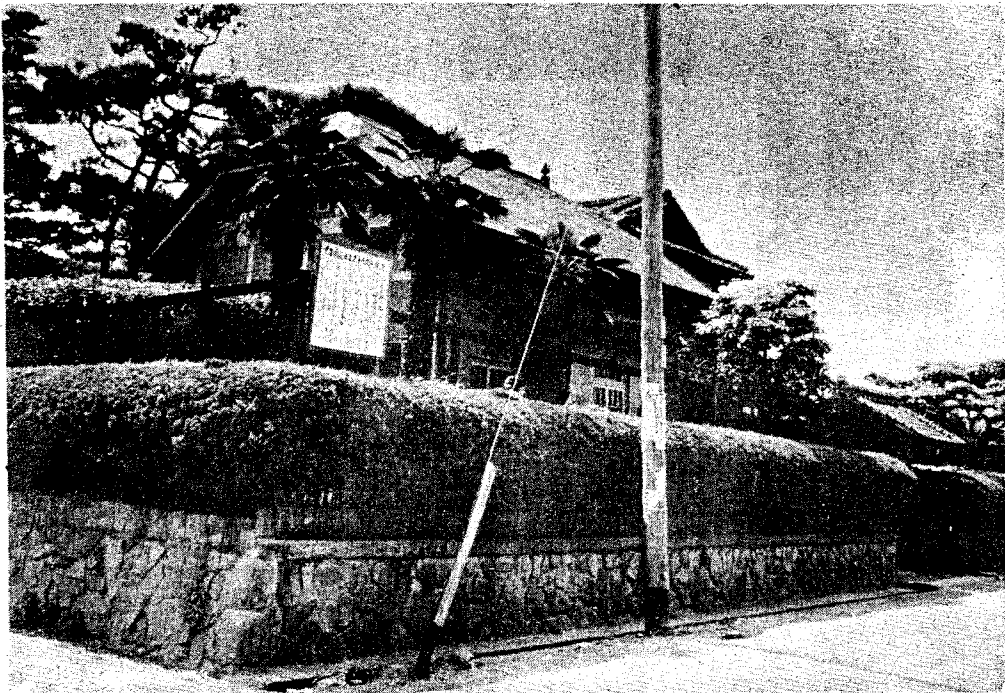
二に二十名以上もバプテスマを受けた人がいる。

三に会員個々の信仰と証詞が強くなつた。

四に出席者が七十人から八十人とハネ上つた。

五に補助組織すべての会がよく計画され、立派なプログラムが行われるようになつて来た。

組織を充実せんとするならば、神権を持つ者が増さなければならぬ。この支部は割合に



れでもこの伝道部では組織の充実している点で片手で数えられる支部の中に入るであらう。

支部長はウエタカ長老、第一副支部長はこの支部の開設者であり、最も古い会員である柱兄弟。第二副支部長は若く、熱心な中河兄弟である。日曜学校は中筋兄弟が会長、上野山、北川両兄弟が副会長、M I A は会長富山兄弟、田口兄弟、高橋兄弟が副会長、扶助協会は帰還宣教師の今井姉妹が会長。

岡 町 支 部 教 会 堂

役員と共に各クラスの先生達の質が、非常によくなつて来た事をみのがす事は出来ない。日曜学校は五つのクラス、M I A は三つの福音のクラスがある。先生達の為にティチャー・トレーニングの会を開いた事が先生達に、大きな参考となつたらしい。非常に感銘されるのは、終る前にかならず各先生が熱烈に証詞をたてる事である。「このレッスンは本当である事を私は知つて居ります。私はこの事を証詞致します」と簡単な、それでいて百の科学的実証より、クラスの生徒の心をとらえるのである。

今年に入り、すでに二十名以上のバプテスマがゐつたが、宣教師達に云わせれば、先生と会員達すべてが求道者をよくかんげいし、

親しく交際した事が影の力だつた由。實際、宣教師達がよい求道者を、トラクティングでみつけ、家庭集会を開いて、教会につれて来ても、会員達がそつぽをむいたのでは、二度来る気持をくじいてしまう。「畑は早白くして刈り入れを待つてゐる」人達とは云え、鎌を入れる人達がなまけたのでは、けして刈り入れられるものではない。半年間に全国の浸礼者の約一割がこの支部から出たという事はまったく「驚嘆すべき業」である。彼等の信仰と証詞が強くなつたのは、実に信仰を行爲にうつし、証詞を多くの人にわかちあつたからに他ならない。統計に表われた良い結果は楽しいものである。悪い数が出て、けつして悪いとは信じられないが、良い数が出た時、

本当にその事を信じる事が出来る。七十人から八十人の出席者という数は、ステップ・バイ・ステップと増して来た数だけに、そのままこの支部のよさを示している。日本の国内二十九支那中日曜学校、M I A 出席者は一位の成績

積であろうと思われる。

ホールが小さいのでその改築の為、支部は一かんとなつて働いたので、今年は四十万以上に及ぶ額を作つたそうである。近いうちに二百人も収容出来るホールを作れば、またまた入れきれぬ程に、出席者を迎える事である。

岡町はたしかに種々な面で成功した。これについて、ウェタカ支部長は「岡町支部の成功はある特別の一人の努力によつての結果ではなく、宣教師、信者、そして求道者が一緒になつて神様の王国が良く進歩するように努力したからである」と云つてゐる。

(今回は岡山支部)

大管長の言葉

「祈りについて」

ジョセフスミス

われら、兄弟たちに云わん。汝ら私室にて神を求め、又野にても神を呼び求めよ。モルモン經の指し示すところに従い、且つ汝らの家族、牛、羊、家畜、穀物、又その他もてゐるすべてのもののために祈れ、汝らの仕事や従

事する他のすべての業の上に神の祝福のあらんことを祈れ。徳をもて清くあれ。正直と真理の人たれ。神の誠命を守れ。かくせば善と悪との相違、神の事柄と人の事柄との相違を悉く理解せん。汝らの道は正義の道にして、全きへの道をより明るく照らし出さん。

ブリガムヤング

自ら、主にあらん限りの援助を喜んで与えんとせぬ時に、主に何ら事をなす様願わぬとは、われらが信仰と宗教の一特性なるを汝らは知る。われは、自ら喜びてなさんとせぬ事を主に頼まぬなり。又汝ら、知識を維持し、且つそれを正しく改良せしめんとの意志もたぬ時には、知識を主より求めんとするべからず。

ジョンテイラー

諸君は、家庭にて家族の祈りをなすか！

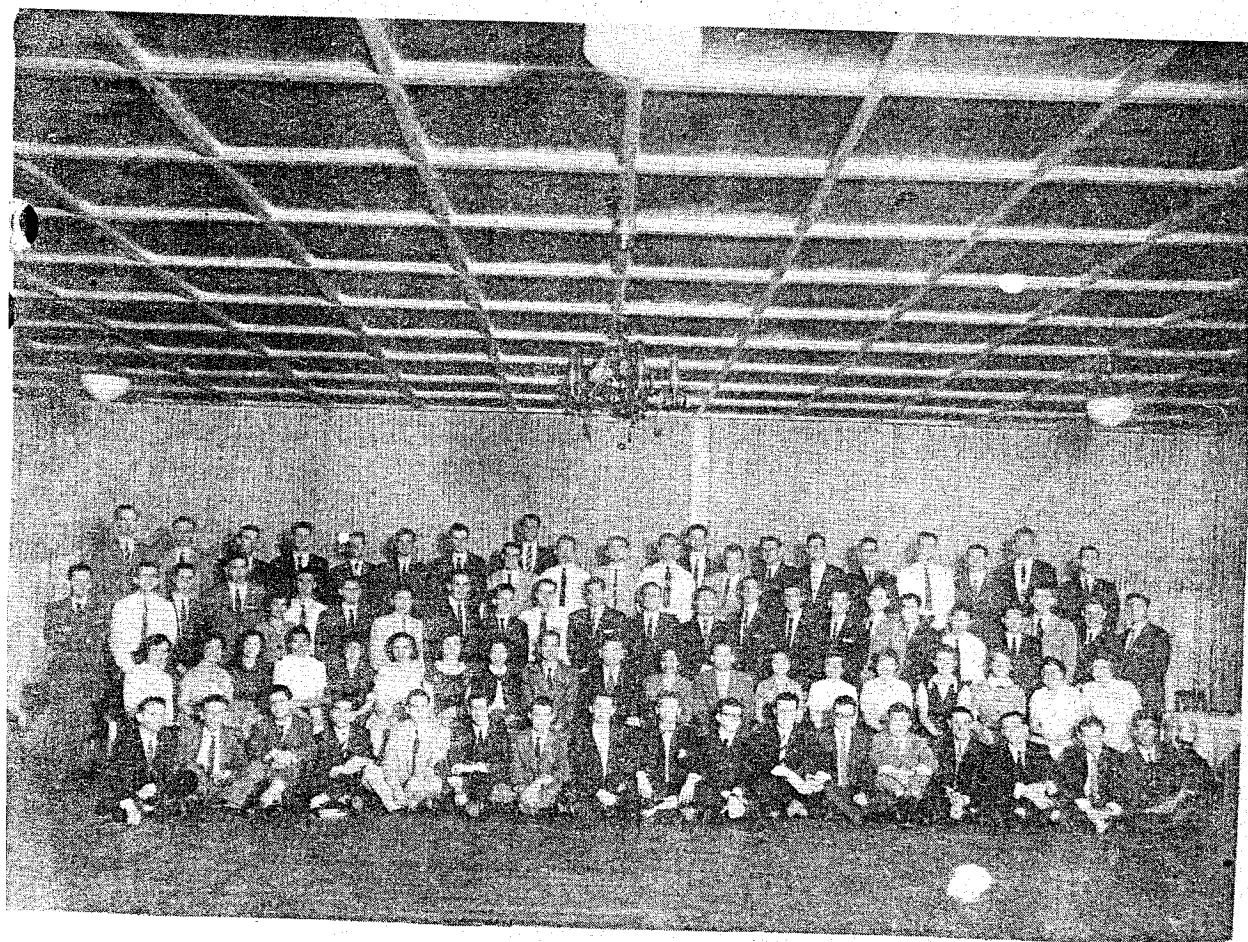
又祈りをなす時一つの機械の廻る如くに、習慣的に家族の祈りをなすか。それとも、諸君と諸君の家族の上に神の祝福を得んと、誠実な願望と、謙遜とをもて祈るか。自らの献身な行いと、神の祝福を求むる祈りとにより、神に対する敬虔と信頼の精神とを教化せしめることこそ、われらがなすべきことなり。

中禅寺湖畔における

本伝道部宣教師大会

北部極東伝道部では六月二十五、六両日、日光中禅寺湖畔レークサイド・ホテルで在日宣教師大会を開き、全国各支部から参集、強い証詞と敬虔なる祭囂氣に満ちた集会であつた。

「写真説明」(上) 日本人宣教師(向つて左から、福田、遠藤、新後閑各長老、出原姉妹、前沢長老、木暮、佐々木両姉妹、紙谷、浅田両長老) (下) 大会場におけるアンドラス伝道部長(二列目中央)以下○各宣教師



一八四八年のこと、ソートレークの谷では、
モルモンの開拓者たちは、五千エーカーに亘る
地域に麦を植えた。未開拓な地で生活してい
くためには、何としても充分な穀物が必要で
あるため、開拓者たちは麦の入手に細心の注
意を払っていたのである。灌がいのおかげによ
り、麦はよくみのり、充分な収穫が予想され
ていた。ところが、こうした彼らの希望の全
く消え失せてしまう時が到来したのである。

突然、何万という数知れぬ 表紙説明

多くのいなが谷のかなたか
ら押し寄せ、田畑を食い荒ら

かもめの記念碑

である。

行つて、水を飲んでこれをはき出して、こ
れを何度となく繰り返したのであつた。
そしてすべてのいながが完全に退治され
るまで毎日毎日続行したのである。開拓者たち
は、この偉大なる奇蹟に対して神に心からの
感謝を捧げた。かくして、彼らの麦作は完全
に滅亡より救われたのである。

今月号の表紙にある「かもめの記念碑」は、
この出来事を記念するために建てられたもの

除幕式は一九一三年九月に
執行され、この記念碑はソー

し始めた。開拓者たちは、出来得る限りの手

を尽くしたが、いながの軍勢にとてまかなう

ものではなかつた。絶望の中にも、彼らは神

に祈りを捧げ、助けを請うたのである。

愛ある神は、これら開拓者の祈りを聞きた

もうた。即ち、にわかに、空は田畑をおう

かもめがかきくもつた。かもめはこうした聖

徒たちの苦しみを理解しているかのように、

いながを片端から呑み込み、小川まで飛んで

最後に、今月号の表紙及六月号の表紙は、
ランドバーク長老の撮影せるものであること
をつけ加えておく。

編集言

○「聖徒の道」と改題し、しかも新らしい印
刷機を入れたりして準備に手間取つたため、
六月号の発行のおくれたことをお詫びいたし
ます。

○そのため七月号を急いで発行しましたが、八
月号から漸次平常に帰します。御諒承願いま
す。

○新約モルモン経が好評を博しています。会員
たちもこの聖典の普及のため御協力下さい。

○「支部訪問記」は誠に意義が深い、各支部が一
競つて投稿し、支部相互間の親睦に一役かつ
て頂きたい。

昭和三十一年七月一日発行

発行人 ポール・C・アンドラス

編集人 高木 富五郎

発行所

東京都港区麻布広尾町十四

末日聖徒イエス・キリスト教会

北部 極東 伝道部

末日聖徒イエス・キリスト教会信仰簡条

(1956年8月校訂、承認)

- 第 1 条 われらは、永遠の父なる神と、その御子イエス・キリストと聖霊とを信ず。
- 第 2 条 われらは、人は皆各々其身にてなしたる罪に対して罰を受け、アダムの咎に対して罰を受けざることを信ず。
- 第 3 条 われらは、キリストの贖罪により、すべての人類は、福音のおきてと儀式とを守ることによりて救われ得ると信ず。
- 第 4 条 われらは、福音の第一原則と儀式とは
第1、主イエス・キリストを信ずる信仰
第2、悔改め
第3、罪の赦しを受くるために水に沈めらるるバプテスマ
第4、聖霊の賜を授かるための按手礼
なることを信ず。
- 第 5 条 われらは、福音を宣べ、且つその儀式を執り行うためには、啓示と、權威ある者の按手により、神によりて其任に召されねばならぬことを信ず。
- 第 6 条 われらは、教会には、初期の教会に在りたると同一の組織、すなわち使徒、予言者、監督、教師、祝福師等のあるべきことを信ず。
- 第 7 条 われらは、異言を語る力、予言する力、啓示、示現を受くる力、病を医す力、異言を訳く力等の賜あることを信ず。
- 第 8 条 われらは、正確に翻訳されたる限り、聖書は神の御言葉なりと信ず。またモルモン経も神の御言葉なりと信ず。
- 第 9 条 われらは、すべて神のこれまでに啓示したまいしこと、すべて今啓示したもうことを信じ、なお今より後、神の王国について多くの偉大にして重要なことを啓示したもうことを信ず。
- 第 10 条 われらは、イスラエル人は、文字通りに四方より集合し、その十支族の元に立ちかえることを信ず。われらは、シオンはこの（アメリカ）大陸に建てられ、キリストは御自ら地上に王となりて治めたまい、地球は元にあたたまりて樂園の栄えを受くることを信ず。
- 第 11 条 われらは、自らの良心に従い、全能なる神を礼拝する特権ありと主張す。また、われらは、すべての人々にこの特権を許し、何所なりとも、如何様なりとも、または何なりともこれを礼拝することを妨げず。
- 第 12 条 われらは、王、大統領、統治者、長官に従うべきを信じ、また法律を敬い、守り、支うべきを信ず。
- 第 13 条 われらは、正直、真実、貞潔、慈善、高德なるべきこと、およびすべての人に善を行うべきを信ず。まことにパウロの訓戒に従うというを得べく、われらはすべてのことを信じ、すべてのことを望む。すでに多くのを堪え忍びたれば、あらゆることを堪え忍び得んことを望む。もし何にても、徳高きこと、好ましきこと、よき聞えあること、あるいは褒むべきことあらば、われらはこれらをたずねもとむるものなり。

ジョセフ・スミス